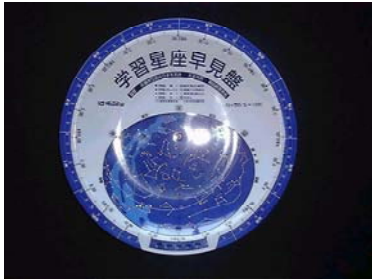


# 星座早見盤の使い方と注意点

星座早見盤には、いろいろな形のものがああります。どれも天の北極を中心にして地平線まで見える星座をかいた円盤にその時刻に見える星座の範囲を表す、楕円のような形の窓がついた円盤を重ねてああります。

## (いろいろな星座盤の例)



○外側には、1年間の月日の目もりがあり、楕円のような窓のついた円盤の外周には、24時間の時刻の目もりがああります。

○観測するときの時刻の目盛りを、月日の目盛りにあ合わせます。例えば、8月27日の20時には、どんな星が見えるかを調べるためには、月日の目盛りの8月27日をさがし、この27日のところに、時刻目盛りの20時をあ合わせるようにします。



○見ようとする方向の所を下にして持ちあ上げ、夜空の星と比べあます。

### <北の空を見る場合>

・全天面を見る



### <南の空を見る場合>

・裏の南天面を見る



・全天面を見る

